



The FreeRadical Book

A guide to owning, using and loving your Sport Utility Bicycle

**contact info**

[www.xtracycle.com](http://www.xtracycle.com)

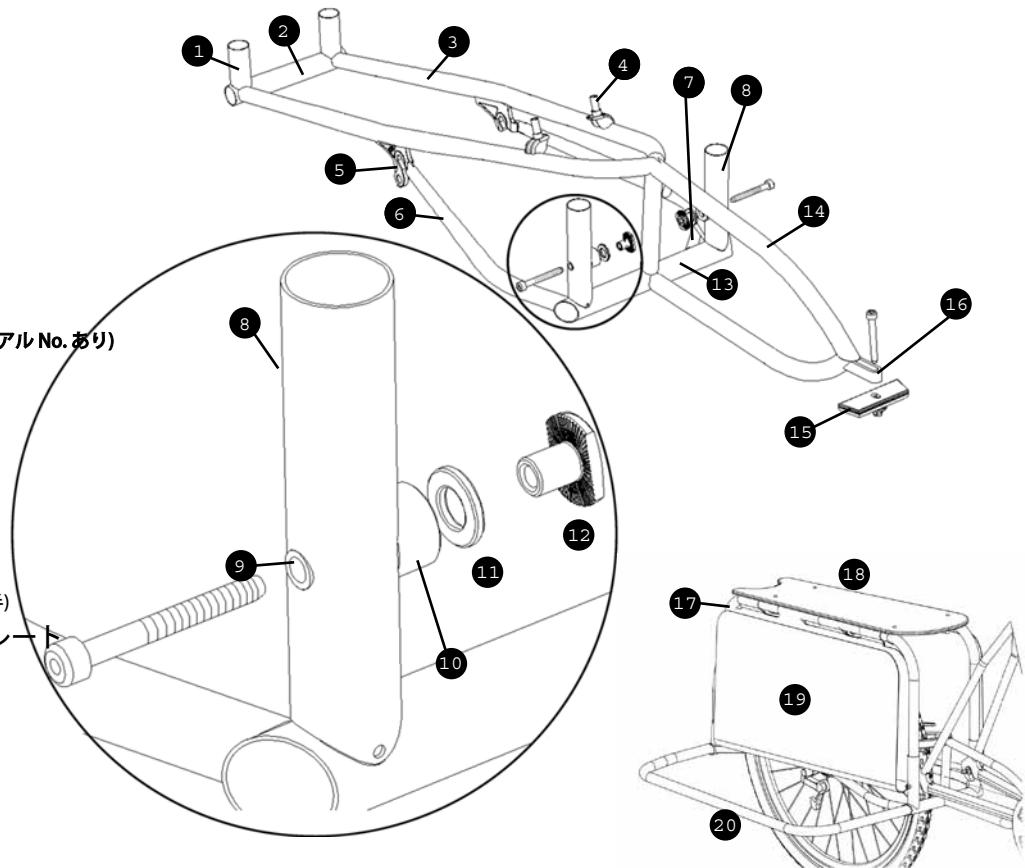
[info@xtracycle.com](mailto:info@xtracycle.com)

1078 60th Street Oakland, CA 94608

888.537.1401

## { Anatomy 101 }

1. リア アップライト
2. リア ブリッジ
3. ロングステイ
4. ブレーキポスト
5. ドロップアウト
6. ショートステイ
7. キックスタンド プレート(シリアルNo.あり)
8. フロント アップライト
9. ドロップアウト ボス
10. ボス ホグ
11. スペーサーワッシャー
12. スペシャルナット
13. フロントブリッジ
14. トップステイ(持ち運ぶ際の取っ手)
15. フロントアタッチメントプレート  
(ラバーパッド装着)
16. タン
17. V-ラック
18. スナップデッキ
19. フリーローダー
20. H-ラック(オプション)



# Table of Contents

3

## Welcome 2 How to use this book 3

## Assembly 4 Instructions

Warranty 16

Warning! Read before you ride 17  
Pre-ride checklist 18

Ride! Guide to using the FreeRadical 19  
What does what 20  
Care and Maintenance Instructions 24  
Tricks of the Trail 25  
Xtracycle Accessories and Goodies 26

Saving the World 29

About Us 31 1

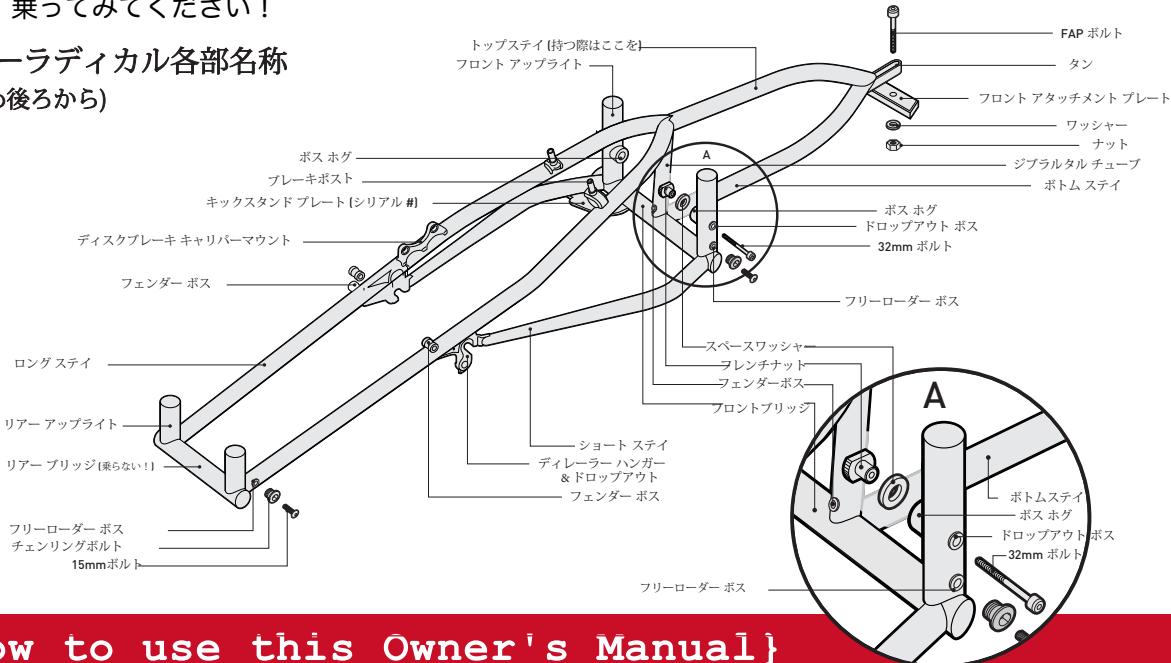
{ Welcome }  
ようこそ

“ I cannot begin to express my gratitude and appreciation towards the Xtracycle team for creating such a wonderful tool. This is truly a quality product that has tremendous potential. Often I wonder on my way to work what it would be like if everyone had an Xtracycle. I hope to someday find out, I know it would be incredible! Thanks again! ”  
Billy Witort ”

わあい！

日々成長するエクストラサイクルのオーナー団体に入っていたいと、賛辞と感謝を述べたいと思います。世界中に点在するこのオーナーたちはより幸福に、より格好良く、より親しみやすく、より豊かに、よりクールに、そして日々の移動や生活、楽しみに魂のこもる術を見つけ出している人たちなのです。私たちはこの会社並びに製品をもって、とりわけ環境への圧力を最小限にし、世の人に快適な移動手段を提供することで、世界をより良い場所にしようとしているところです。私たちはエクストラサイクルスポーツの万能な自転車が何らかの方法でもってあなたの世界を変え、あなた自身を鼓舞し続けることを確信しています。さあ、乗ってみてください！

### フリーラディカル各部名称 (斜め後ろから)



### { How to use this Owner's Manual } オーナーズマニュアルの使い方

この説明書はフリーラディカルの組み立て方、使い方、そしてお手入れ方法を紹介しています。またフリーラディカルを自転車に正しく安全に装着させる紹介文も含まれています。



フリーラディカルの装着は必ず熟練の自転車整備士に行ってもらってください。フリーラディカルの誤った装着や互換性のない自転車への装着は、フリーラディカルと自転車に損害を与えると同時に、搭乗者に怪我や死をもたらす恐れがあります。自転車に乗る前にはこの説明書内にある”自転車に乗る前に”の指示を常に守ってください。それこそ言葉通りの意味なのです！



またこの説明書からあなたはこの世界の中でシンプルに生活する、善や美のために格闘するための情報のかけらを発見すると思いますのでぜひ実践してください！そして積み荷の容量を広げるアクセサリと愛に満ちたエクストラサイクルのグッズをチェックしてみてください。



保証書はこのオーナーズマニュアルの中に含まれています。速やかに所定の項目を記入いただき、マニュアル裏の住所エクストラサイクル宛に返送ください。それによりあなたは保証申請が容易になり、私たちはあなたとあなたの趣向を知る手助けになります。お好みで保証登録はオンラインの [www.xtracycle.com](http://www.xtracycle.com) でも構いません（情報の転売といった心配は無用です、私たちはジャンクメールなんて誰も信じちゃいません）。

このオーナーズマニュアルはあなたが所有する自転車のオーナーズマニュアルの付録として使われることのみを想定して作られています。そちらではブレーキの仕方や夜間走行、自転車のお手入れや点検、安全な自転車走行の原則、フィッティング、オフロードその他での乗り方など大切な項目を網羅しています。乗る前に必ず両方のマニュアルを読んで会得してください。

# { Assembly Instructions }

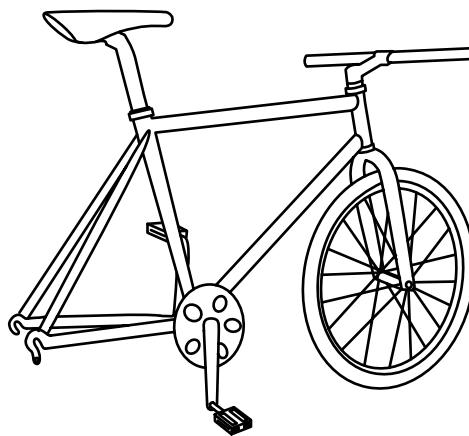
## 取り付け説明



ここから自転車にフリーラディカルを正しく取り付ける説明になります。⚠️ **Warning** 指示通りの組付けを怠った場合、怪我を負ったり最悪死につながる恐れもあります。逆に指示通り正しく積み付けていただければかなりの強度と製品寿命の増加が見込めます。組み付け自体は必ず熟練の自転車整備士に行ってもらってください。また作業は一通り読んでから取りかかるようにしてください。

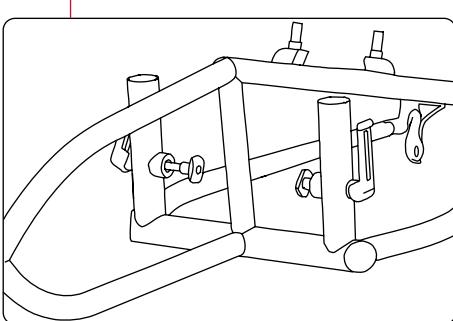
### 組み付け、調整に必要な工具：

5mm アーレンキー  
6mm アーレンキー  
8mm アーレンキー  
モンキーレンチ  
ケーブル&ハウジングカッター  
+ドライバー  
チェンカッター  
ものさし  
作業台（任意）



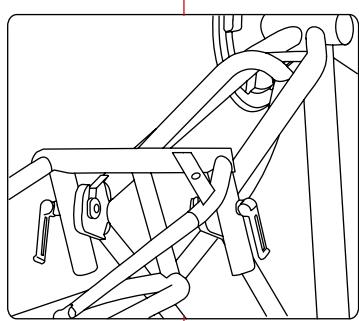
**1**

それでははじめましょう！  
フリーラディカルに載せ換える自転車のチェン、リアディレーラー、リアブレーキ、後輪、そしてスタンドを取り外してください。



**2**

左右のドロップアウト ポスに外側から短いボルト（もしくはオプションのクイックリリース）を挿入し、内側からスペシャルナットで仮止めします（ここでは紹介していませんが次のステップ3でスペーサーワッシャを組み込むかどうかなど判断します）。



**3**

フリーラディカル先端のタンをチェンステイブリッジの上に位置させてスペシャルナットを自転車のリアドロップアウトに滑り込ませます。その際ボルトはまだ締め込まないでください。

メモ：フリーラディカルの取り付けはリペアスタンドを使って上下逆さまにして行うと簡単です。リペアスタンドがない場合、シート（ポスト）を抜いていただき逆さま（あなたじゃなくバイクを）にしていただくと安定した状態で作業していただけます（図も逆さま後方から見たものです）。

### 3 continued

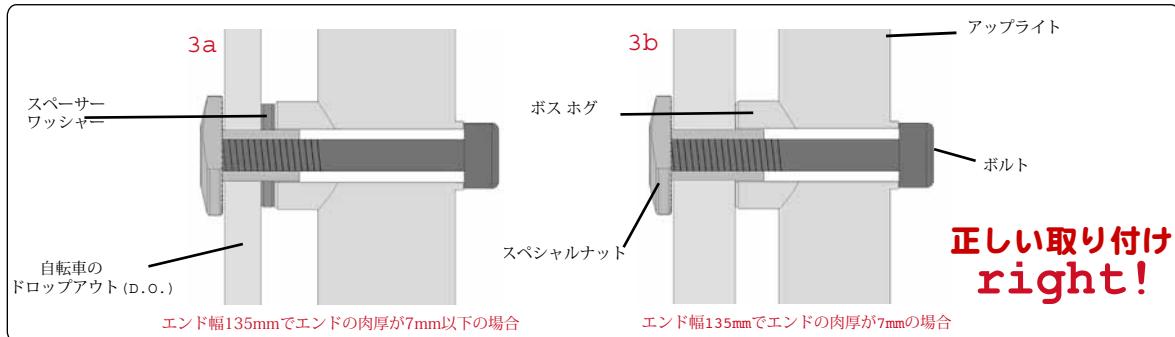
メモ：フロントのアップライトの間隔は1997年以降のマウンテンバイクで標準となっている7mm厚のドロップアウト、135mmのエンド幅\*を想定しています（図3b）。古い自転車やドロップアウトの肉厚が薄い場合、ボスホグとドロップアウトの間にスペーサーを入れる必要があります（図3a）。ドロップアウトの間隔が十分でない（スペーサーを入れてもリアエンドとボスホグの間に空きができる）場合、多くの専門店で専用工具を使ってエンド幅を問題なく広げてもらうことが出来ます（ただしカーボンコンポジットや量販店で売られているような安価なスチール、アルミのフレームは例外で、広げるにあたり支障を来す恐れがあります）。この作業でフレームが弱くなることはありませんが、保証が無効になるかもしれませんので製造メーカーに確認を取ってみてください。またこの問題に対処できるナローキットをエクストラサイクルにオーダーしていただくことも出来ます。

逆に135mmエンド幅のアルミフレームでもドロップアウトが厚い場合、リアエンド幅を狭めてもらう必要があります。ドロップアウトが9mm厚以下の場合、狭める量はわずかですので専用工具は必要ありません。ブリーザーやリッチャーのようなフランジをもったドロップアウトはアップライトと干渉しないようスペーサーが必要です（図3a）。

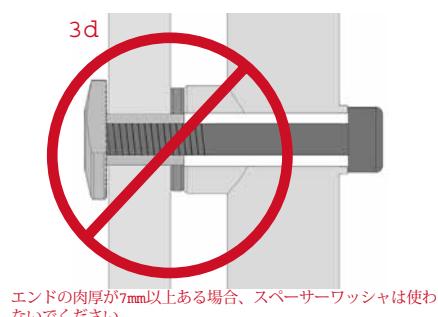
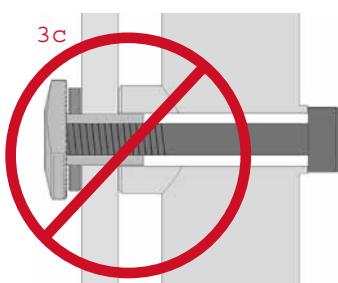
どのような場合であってもスペシャルナットとドロップアウトの間にスペーサーワッシャは入れないでください（図3c）。ドロップアウトの厚みが7mm以上あるフレームでスペーサーワッシャは使わないでください！スペシャルナットのボスホグへの固定が妨げられ（ステップ5参照）、フリーラディカルをフレームにしっかりと固定できなくなります（図3d）。

\* ハブのロックナット外側面からもう片方の外側面までの長さであり、フレームのリアエンド内側の間隔。ロックナットはアクスルセットの一部で、通常ホイールを装着したときドロップアウトの内側の面を支える部品です。

### 3 diagrams 図解



間違った取り付け  
wrong!



## 4

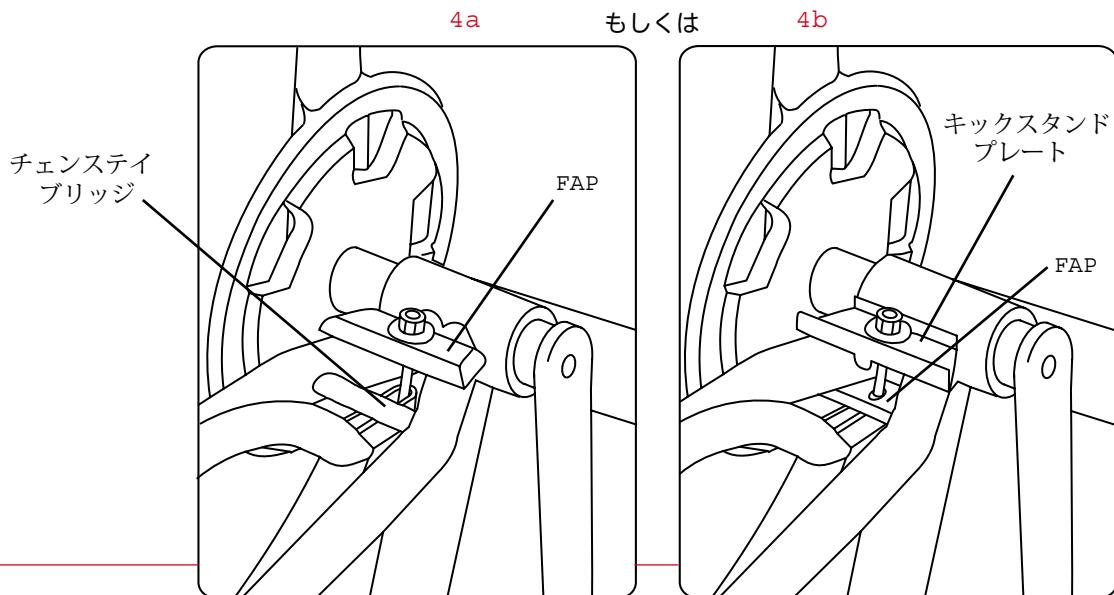
ロングボルト（もしくはオプションのクイックリリース）を使って、a、b、もしくはcの要領（フレームの構造により変わります）でタンを取り付けてください。クイックリリースを使う場合、そちらの説明書も参照ください。どの場合でもラバーカッショーンはFAPの平らな面に貼ってください。このカッショーンはフレームに相対して設置される形になります。

[a] チェンステイにブリッジが（もしくはキックスタンド用の取り付けプレートがチェンステイ上部に）ある場合：タンをブリッジ（もしくはキックスタンドのプレート）の上に乗せ、FAPをチェンステイの真下に、ボルトは上から通し、下からのワッシャとナットで固定される形です（図4a）。ボルトはブリッジを貫通する必要はありませんが、しても差し支えありません。

[b] キックスタンドのプレートがチェンステイ下側にある場合：FAPをチェンステイの上に載せ、タンをその上にくるように、ボルトは上から通し、下からワッシャとナットで固定します（図4b）。

[c] キックスタンドのプレートもチェンステイブリッジもない場合（図なし）：FAPが2つ必要です（もう一つはショップを介してモトクロスインターナショナルに注文ください）。2つのFAPでチェンステイを挟む形で上からボルトをタン、上側のFAP、下側のFAPと通して行きワッシャとナットで固定します。

## 4 diagrams 図解



解説図の自転車は上下逆さまになっています！

**5** タンが両チェンステイの真ん中に来るよう注意しながらボルトを100in lbs(=11.3 Nm)で締め込みます。次に両ドロップアウトのボルトを120in lbs(= 13.6 Nm)でアーレンキーを使って締め込みます。

**▲ WARNING** ドロップアウトのスペシャルナットはボスホグの中まで入っていることが重要です！そうでないとフリーラディカルはフレームと十分に固定されず、走行中に外れる可能性があります。またドロップアウトの肉厚が7mm以上あるときはスペーサーワッシャを使わないでください。

**6** 作業台を使っている場合、自転車の上下を正し元に戻します。自転車のマニュアルやパーツメーカーの取り付け書に従ってリアディレーラー、リアブレーキをフリーラディカルに取り付けます。

メモ：フリーラディカルはロングアームのカンチレバーブレーキ（Vブレーキやリニアブレーキ）用に設計されており、それ以外は安全に作動しない恐れがあります。これらのブレーキが必要になった際は購入店で問い合わせください。



{ 6.7 } 笑って笑って、半分以上進みましたよ！

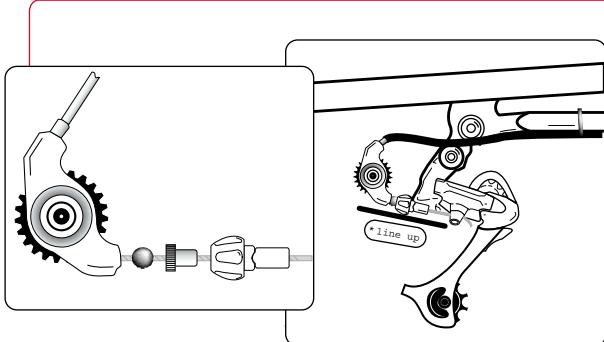
**7** 自転車の方のオーナーズマニュアルに従ってフリーラディカルのドロップアウトに後輪を装着します（多くのメーカーはWebサイト上にもマニュアルをアップしています）。

**▲ WARNING** 古いモデルの後輪を装着する場合、アクスルを長いものに交換する必要があるかもしれません。クイックリリースの場合、アクスルの長さは138~146mmの間でなければならず、クイックリリース仕様でない場合少なくとも170mmのアクスル長が必要です。一か八かでアクスルサイズの合わないものを試すのは止めてください。長過ぎても短過ぎても忘れた頃に脱輪を起こす可能性があります。上記の仕様にそぐわない場合は交換してください。

**8** 古いリアディレーラーとブレーキケーブルは新しいものに交換していただき、必要であればケーブルハウジングも新調していただき、含まれていればローラーマジグ（オプション品です）も取り付けてください。ディレーラーのケーブルは自転車フレームのシートステイとフロントアップライトの間を通り、ボスホグの下を通してショートステイの下を通すことで最適に保護された状態に置くことが出来ます。

#### {ローラーマジグについて}

ケーブルハウジングが前方から直に入るよう設計されているディレーラー（SRAMのモデルなど）ではローラマジグを使わないでください。



## 8 diagram 図解

- ¥ ローラマジグの下端はディレーラーボディの下端とほぼ一直線になるようにします（図参照）。
- ¥ ゴアケーブルをお使いの場合、ライナーを切っていただくことでプーリーとの干渉がなくなります。
- ¥ ケーブルがしっかりとプーリーの溝にはまっていることを確認してください。

**9** チェンの装着には既存のものにキットのチェンを加えてください。チェンの長さはディレーラーに通した状態で一番大きなリングとコグに渡して張った長さにリンク1個分加えたものです。同封されるチェンの長さは正常に組まれた自転車のチェン長を想定したもので、スポーツ用途の自転車であれば2つのチェンを合わせることでちょうど良い長さになるはずです。特別なオーダーがない限り、同封されるチェンは6、7、8速に互換性のあるものです。加えて言えば全てのメーカーのチェンは互いに互換性があるわけではありません。互換性を熟知しているのはプロの自転車整備士のみです。チェンがすり減った際や特別なサイズが必要になった際、互換性が無かった場合、適切なチェンを購入店にお求めください。 **⚠ warning** 互換性の無いチェンをつなぐと乗車中に突発的なチェンの断裂が起こり転倒につながる恐れがあります。規格の合わない、不適切なコネクトピンでの接続も乗車時の張力で断裂を引き起こし転倒につながる恐れがあります。

**10** 自転車の方のオーナズマニュアル、もしくはコンポーネントメーカーの取り付けガイドを参考にブレーキとディレーラーの調整をしてください。同封のキックスタンドをフリーラディカルのキックスタンドプレートにボルトで留めてください。上から見た時に伸ばしたスタンドのアーム（マウント用プレートではありません）がフロントブリッジと平行になるような角度にします。またスタンドをしまい込んだときにスポークの中に突き出さないことを確認してください。

メモ：内装ギアやシングルスピードの自転車ではフリーラディカルのドロップエンド内でホイールを前後してもらうことで適切なチェンテンションが得られます。

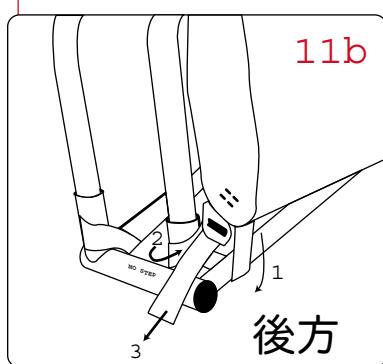
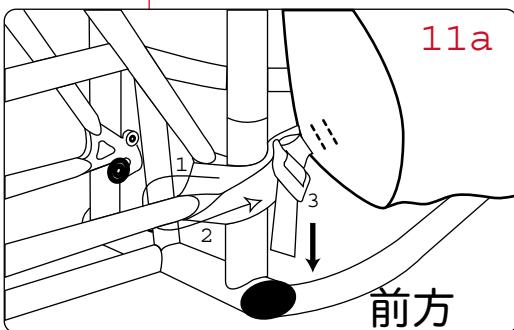
## 11 Installing the V-racks/FreeLoaders 11 Vラック/フリーローダーの取り付け

必ず以下の指示に従って取り付けてください。フリーラディカルの優れた性能はフリーローダーの適切なストラップの通し方と張り具合にかかっています！

{1} フリーローダーをVラックの上で広げてください。ラック横からフリーローダーのストラップを通していきます（Vラックを床の上で”C”の向きになるよう立てて最後まで通して行きまます）。そしてフリーローダーのフラップをしっかりと引っ張ります（Vラック下方に向かって）。

{2} 右側のVラックを右側のアップライト2カ所に差し込みます。ラックの両サイドがしっかりと入っていることを確認してください。これには練習を要し、片方の手でアップライトをつかみながらVラックの先を前後同時に差しめるようになるのがベストです。

## 11 continued つづき



{3} ストラップを均等に張ることでフリーローダーの底面に張りをもたせてください。前方のストラップはフロントアップライトの外側からフレームの両ステイの間を通して、再度フロントアップライトの外側から戻してはしご状の固定バックルに差し込みます(図11a)。後方のストラップはロングステイの外側から下にはわせ、リアアップライトの後方からはしご状の固定バックルに差し込みます(図11b)。ストラップはリアブリッジ上を通りたくないことが重要です。フリーローダーはしわが出来ないようにしっかりと張らなければいけません。ストラップをしっかりと張ってもフリーローダーがしっかりと張られない場合、装着したものをフリーラディカルのフレームから取り外し、再度ステップ(1)から始めてVラック上でフリーローダーを張り直してください。

## 12 Installing the SnapDeck スナップデッキの取り付け

{1} 片側の取り付け(スナップ)パーツがVラックを内側から押し付けるようスナップデッキを置いてください。前方の取り付けパーツはVラックに取り付けられたフリーローダーのフロントフラップの前側に、後部はフリーローダーのリアフラップの前方に来るようになります(図12a)。正しく装着されるとスナップデッキの鼻先はほぼ垂直な左右のフロントアップライトによって作られる面と並ぶはずです。

{2} 片側の位置合わせをしたら、デッキがパチンとはまり込むよう上から自然に押し込んでください。

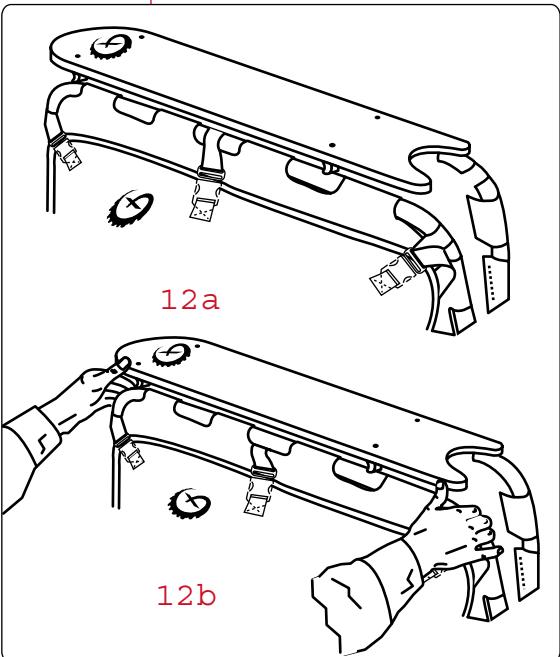
**DANGER** 取り付けの際、スナップデッキとVラックの間に指を挟まないよう守ってください。

### 取り外し

取り外す時はVラックを押さえながら両親指でスナップデッキの端を上に押し上げてください(図12b)。

\*2014年現在スナップデッキはフライトイデッキに更新され、取り付けにはスーパーフックが使われます。

スーパーフックの使い方についてはこちらの動画(<http://vimeo.com/85616403>)をご覧下さい。



技術的な良く問い合わせられる疑問(FAQ)に関しては<[www.xtrzcycle.com](http://www.xtrzcycle.com)>を参照ください。

## { Limited Warranty }

### 制限保証



エクストラサイクルLLCは自社の製品に対して、以下に掲げる条件、制限事項に従って材料、製造上の欠陥がないことを保証します。エクストラサイクルはこの保証において負う唯一の義務として製品の修理もしくは交換を選択できるものとします。

- ¥ フリーラディカルフレームは購入された最初のオーナーに限り生涯補償とします。
- ¥ コンポーネントは一年保証とします。
- ¥ エクストラサイクルはいかなる損失、不自由、結果として起こった損害に対してもいっさい野責任を負いません。
- ¥ この保証は摩耗や傷、高い負荷、不正使用、乱用、不注意、事故、誤った取り付けや修理、もしくはエクストラサイクルが即時に管理できない損害に対する保証を負いません。以下はこの保証が適用できない予防できる損害のリストの一部です。フリーラディカルが錆びること、スナップデッキの合板剥離、フリーラディカルとVラックの結合部分の電気腐食、ドロップアウトよりも後ろに過積載 (100ポンド=約45kg) することでのフリーラディカルのロングステイの湾曲、後輪の破損、ラックソケットの損傷、ストラップを締めすぎることによるプラスチックパックルの破損、そしてスタント走行やジャンプ、アクロバティック、競技走行、商業的利用による損害
- ¥ 損傷が材料もしくは製造上の欠陥であるかどうかを判断出来るのは唯一エクストラサイクルのみとします。
- ¥ 保証申請は購入を証明するものが必要で、正規代理店を通して行われなければいけません。
- ¥ フリーラディカルの取り外し、再取り付け、再調整などにかかる工賃に保証は適用されません。
- ¥ 点検などでフリーラディカルを送る際に要するいかなる郵送料、保険料、輸送経費もお客様の負担となります。

私たちはフリーラディカルからこの上ない楽しみと有用性を享受してもらいたいと思っているのはもちろん、それがわずかな額であっても、お客様がこれから被るかもしれないどんな怪我の治療も援助したいと願っています。フリーラディカルを組み付けることによって、自転車の製造メーカーの保証が無効になるかもしれないことを自覚してください。

## { Warning! }

### 警告！

#### ▲ WARNING

自転車は乗る人の心や体、移動手段、果ては地球にとって良いものですが、同時に危険をはらみます。子供を2人、また荷物を載せた自転車もより多くの危険をはらみます。この製品を使われる方は、サイクリングに参加することが重傷や死を招く恐れがあるということを自覚する必要があります。

どんな搭乗者も常にヘルメットを着用して下さい。ヘルメットが怪我を防ぎ、命を救うことは明らかで、疑う余地はありません。

自転車が動いているか止まっているかに関わらず、スナップデッキの上に立ったり、ひざまずいたり、後ろ向きで座ったり、横に乗る（両足を片側に載せる）ような行為は突き出た部分を破損し、自転車の操舵を失い、リムを破損し、最悪自転車のフレームを破損する恐れがあります。

荷物を積んで走ること、長いホイールベースの自転車に乗ることにはどちらもなれを必要とします。荷物のあるなしに関わらず、往来や危険のない平らな通りで操舵やブレーキングを練習を行って下さい。シートを付けて同乗者を乗せたり、重い荷物を運ぶことは危険を伴い、特に制動力や静止距離はその影響を大きく受けます。常に最低2つのブレーキがしっかりと調整されていることを確認してください。ドラムやローラー、コースターのブレーキは上り下りや重い荷物を運ぶ走行に向いておらず、一番必要とされる過酷な状況で不具合を起こす恐れがあります。エクストラサイクルはリムブレーキ、もしくはディスクブレーキを強く推奨、過酷な運搬状況（子供を載せたり荷物を載せての高速走行）で前ブレーキを強くかけるとフロントフォークを破損する恐れがあります。このような理由からフロントブレーキ単体での仕様は避け、ブレーキをかける時は後ろ、もしくは前後同時にかけるようにして下さい。

この製品を使われる方は、サイクリング、荷物を載せてのサイクリング、子供を乗せてのサイクリングが内包する危険性を理解すること、仮定することをどちらも認識するべきです。

自分で自転車に乗れない6歳未満のお子さんは、エクストラサイクルのチャイルドシートアクセサリーを付かない限り、同乗者としてフリーラディカルに乗せるべきではありません。また扱いに慣れていない大人が操るエクストラサイクルに同乗者として子供を乗せるのも止めるべきです。

良い判断の代わりとなるような警告は一つとしてありません。常に自身で判断、行動することを心がけて下さい。そしてもし何かしらの理由で自身の判断が良くなかった場合は、尊敬出来る方と計画を共有し、意見を求めて下さい。



**⚠ WARNING**

1. ホイールがしっかりと固定されているか
2. ヘルメットが頭にしっかりと固定されているか
3. 3箇所の接続箇所でもってお持ちのフリーラディカルが自転車にしっかりと固定されているか
4. フリーローダーがきちんととしていて、ストラップがホイールに巻き込まれるほどぶら下がった状態になっていないか
5. ブレーキがしっかりと調整されているか
6. フレームやコンポーネントなどにクラック(亀裂)や破損がないか (一般的に、どのような時であれお乗りの自転車のフリーラディカル、フレーム、ステム、フォーク、ハンドルバーにクラックや変形があった場合速やかに乗るのを止め、お近くの自転車ショップに持ち込み検査してもらって下さい)
7. スナップ小物(スナップデッキにボルト留めされるプラスチック小物)の緩みがないか調べ、必要であれば締め込む
8. 積載する荷物の安全性と安定性を二重点検

ride !



## 各部の役割

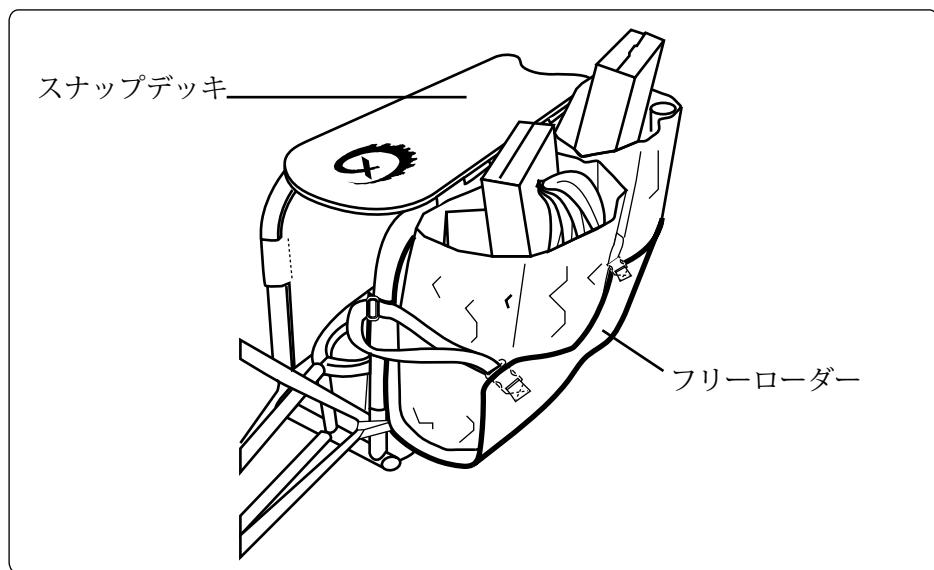
フリーラディカルを正しく扱うため、そして円滑な走行、簡単な積載、そして正当な見た目の車輪がどういったものか学んでもらう為にここで時間を数分費やして下さい(取り付け条件と各部名称については、2ページにある解剖図を参照して下さい)。

フリーローダーは3つの目的を果たします：(1) 荷物を車輪から遠ざけます；(2) 運搬する全ての荷物を集めることで剛性を上げます；(3) 開けた上端からめまいを起こすような貨物の数々を載せることが出来、拡張可能なストラップで持ってバッグには決して入ることのない大きなものを運ぶことが出来ます。この有用性を最大限発揮するには、以下に示す11の積載行程(14ページ)に従って、正確にきつく縛ることが重要です。

小さなシートベルトのように荷物のストラップを調整し、ぶら下がる量を最小に押さえる為スラッカーズ(ストラップの端に付いているC型のプラスチックパーツ)をストラップ裏にひっかけます。サイドワインダーは両サイドのフリーローダー端から水平に渡すストラップですが、これにより小さなものを落とすことなく包むことが出来ます。サイドワインダーはバックルを固定する前にVラックの周りに巻き付けなければいけません！さもなくば張力でもってフリーローダーが避ける恐れがあります。 **Caution** サイドワインダーはバックルを固定する前にVラックの周りに巻き付けなければいけません！さもなくば張力でもってフリーローダーが避ける恐れがあります。

“  
And forget not that the earth delights  
to feel your bare feet and the wind longs to play with your hair.  
”  
Kahlil Gibran

スナップデッキは以下の3つの目的を果たします：(1) まず何と言っても積載用のプラットフォームであり助手席である；(2) Vラックに張力をかける；(3) フェンダーの働きをする(フェンダー効果を最大限発揮するにはエクストラサイクルのフェンダーアクセサリーを望まれることでしょう)。これらを実現するためには、取り付け説明(15ページ)の記述に従ってスナップデッキを固定する必要があります。



Vラックはフリーラディカルの荷物運搬機構全てを支えます。走り出す前に、Vラックが前後のアップライトにしっかりと収まっていることを確認して下さい。またVラックは長いものや大きな箱もの、その他フリーローダーに収まらないもの、スナップデッキ上で安定しないものを運ぶため水平方向に取り付けることも出来ます。VラックをHラックとして使う際、フリーローダーは取り除いたりまとめることができます。またテンション用のストラップはフリーラディカルに取り付けることが出来、貨物を締め込むことが出来ます。Hラックとして使えるVラックは一つのみで、両サイドに荷物を積載する場合、Hラックを手に入れる必要があります(アクセサリーのページを見て下さい)。

### さくっと積載するコツ

#1

キックスタンドの付いている側から積載をはじめ、最も必要とするものをそちら側に載せて下さい。そうすることで、反対側に重いものを載せた際も転倒を防ぐことが出来ます。

### キックスタンドの小技

右サイドに荷物を載せるたびに自転車が右側に倒れそうになるなら、自転車がより左側に傾くよう金ノコを使って足を短くすることを考慮してみて下さい。その際一度に切る量は6mm以内にとどめて下さい。

### さくっと積載するコツ

#2

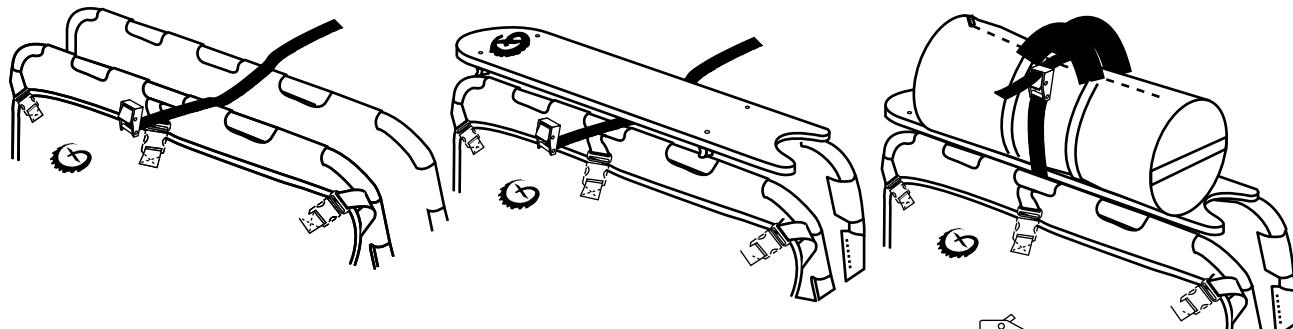
長い貨物を運ぶ際はキックスタンドの反対側に載せると、取り付けた際にも遠回りをする必要があります。

### さくっと積載するコツ #3

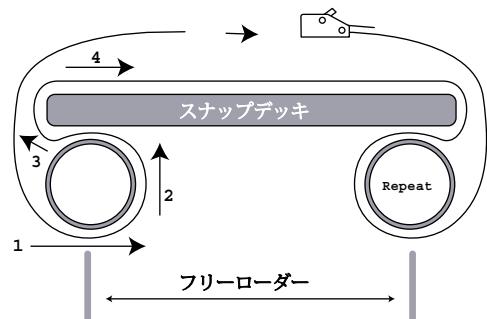
フリーローダーは片方が雄のバッグルを備え、もう片方が雌のバッグルを備えていることに注意するべきです。これにより片方のフリーローダーからスナップデッキの上を通してもう片方のフリーローダーと固定することが可能となります。こうすることで貨物は安定を増し、荒れた路面でもスナップデッキが音を立てないようにすることが出来、Vラックよりも上に伸びる高い荷物を簡単に固定することが出来ます。ぜひ試してみて下さい。

### さくっと積載するコツ #4 and #5

120 -180cmのカムストラップ(アクセサリーのページをご覧下さい)をスナップデッキの下に通し、端をフリーローダーの中にぶら下げて下さい。この作業はスナップデッキを取り除くことで最も簡単に行え、ストラップを両Vラック間に渡し(左図)、デッキを再度取り付けることで挟み込みます(中央図)。荷物を素早く固定する必要がある場合、スナップデッキの上に載せ、ストラップでそれを包み、固く縛って下さい(右図)。



上記の方法は重い荷物では採用しないで下さい。積載貨物とスナップデッキがVラックからねじれを引き起こす恐れがあります。より安全に設置するには、ストラップを左のVラックの下に通し、スナップデッキの上を渡して、右のVラックの下を通して下さい(右図)。



## Care for It お手入れ方法

**▲ CAUTION** フリーラディカルを雨ざらしにしないで下さい。濡れた際はアップライトソケットを乾燥させるようしてください。フリーラディカルは工場にて最高品質の、最も環境に易しい仕上げとなる粉体塗装を施しています。にもかかわらず、フリーラディカルを濡らしてしまうとラックのアップライト内部は錆びることを保証します。アップライトとの干渉による電食を防ぐため、月に1度はVラックを抜き、布きれで綺麗にするようにしてください。Vラックの電食は紙ヤスリで取り除いて下さい。使わないソケットには付属の黒いプラスチックで栓をしてください。酸化や打痕を防ぐことが出来ます。ソケット部分に打痕が出来ると、ラックの挿入が困難、もしくは不可能になります。そのような衝撃を被った際はお近くの自転車ショップで修理してもらって下さい。リアーブリッジには立たないで下さい。ロングステイの変形を引き起します。汚れたフリーローダーは冷たい石鹼水で手洗い、つり干して下さい。旧モデルとなるスナップデッキのニスがすり減ったり風化してたら、剥離を防ぐため屋外向けで無毒のニスを塗り直して下さい。

**▲ WARNING** 最大積載重量：各フリーローダー 23kg；スナップデッキ(リアアクスルより前方) 90kg；スナップデッキ(リアアクスルより後方)23kg；各Hラック27kg；フリーラディカル全体で90kgを超えることのないようにして下さい。また操縦者と積載貨物の合計が160kgを超えることのないようにしてください。エクストラサイクルはお使いの自転車フレームやホイールの破損を補償出来ませんし、お使いのフレームやホイールがフリーラディカルの積載重量限界に耐えうる強度を持つかも補償出来ません。ご用意出来る最も強度のあるフレームとホイールをお使いください。90kgは言うまでもなく、大半のサイクリストは半分となる45kgの貨物さえ運ぶのに苦労します。ご自身の限界を知り、正しい判断を行って、大きな積載を試みる前に安全な場所で小さな物から練習して下さい。

## Tricks of the Trail トレイルを走るコツ

重力：重力は必要とする時そこに存在するものです。ぜひ逆手に取ってみて下さい。重力を利点とする術は、エクストラサイクル号のハンドリングに魔法をかける私たち流のやり方です。私たちの心は常に普通のマウンテンバイクよりも下りのシングルトラックをより良く曲がり、急な坂を駆け上がり、楽に登り始め、片側にカヤックを積んで走るエクストラサイクル号に鼓舞され、お客様はそれを写真に収める訳です。幾分延長されたホイールベース、幾分下された重心、幾分増やされた後輪まわりの重量がそれらを可能にするのです！



**積載：**荷物を低く、前方に積むことが最大限重力を利用する術となります。Hラックを使う際は、荷物を可能な限り自転車に近づけることで安定性を上げることが出来ます。さらなる積載のアイデアと例については弊社のウェブサイトをご覧下さい。

**同乗者の運送：** **▲ WARNING** 同乗者はリアホイールのアクスルよりも前に着席させてあげて下さい。これはロングステイの変形を起こさない為に必要なことですし、貨物を両輪の間に置くことは自転車の操舵性を大きく改善します。同乗者を運ぶ際はフットジーズ(アクセサリーの項参照)。

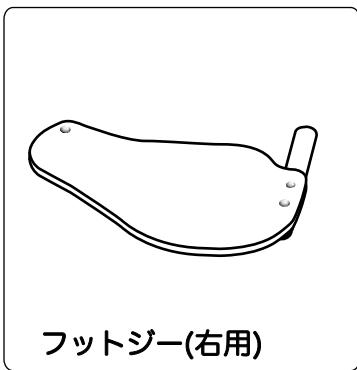
**エクストラサイクル号の運搬：**お使いの自転車はたとえ荷物を載せていても、片手でハンドルバーのグリップを握り、もう片方の手でトップステイを持ち上げることで簡単に運ぶことが出来ます(例えば登り階段など)。便利なエスカレーターがある場合、自転車を乗り入れフリーライドに備えブレーキをかけて下さい。装飾的なデパートは練習をするのにもってこいの場所です。

## { Accessorize! }

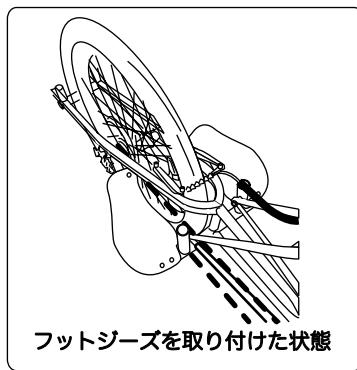
### アクセサリーを付けよう！

#### フットジーズ

同乗者の足が幸せな足になるか不幸な足になるかを分ける重要な一対の木製製品（かなり軽く、とてもかわいく、カシバ材とモミ材を積層した）です。工具を使わずわずか10秒以内に装着することが出来、取り外しも簡単に行えます。近く私たちはフットジーズで特許を取り、裕福になるつもりです！同乗者はこれのおかげであなたを愛するようになり、そう、あなた自身もこれのおかげで自身を愛することになることでしょう。



フットジー(右用)



フットジーズを取り付けた状態



ロングローダー

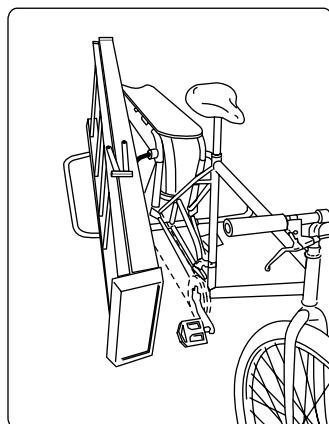
#### ロングローダー

急流用のカヤックやロングボード(もしくはその両方)を簡単に運ぶことが出来ます。この取り付け部品はお客様のウォータークラフトやその他の長い荷物を運ぶことを可能とし、ウィンドサーファーにも持っています。取り付けは工具を使うことなく数秒で終わり、長い荷物をペダルの外側に逃がしつつ保持してくれます。内容物はロングローダーバーと2本のカムストラップに2本のレギュラーストラップで、別途Hラック他で水平方向にラックを拡張することでボートやサーフボード、はしご、自転車ボックス、2x4の木材、釣り竿、マッサージテーブルを固定することが出来ます。

#### Hラック

水平方向に拡張するアルミ製のラックは大きな箱などを運ぶ際の完璧な荷台となり、旗竿やカヤック、材木のような本当に長いものを運ぶのでなければ必須のアクセサリーです。Hラックの取り付けは単純にフリーラディカル前後のブリッジ(水平方向のチューブ)に差し込むだけです。使わない時は取り外して、直立したVラックにもたれさせてコンパクトに収納、もしくは家に置いておくことが出来ます。Hラックは片側、もしくは両側で使うことが出来ます。もったいぶった折りたたみ式のXウィングモデルには注意して下さい。

#### Hラックとロングローダーを取り付けはしごを載せた状態



#### カムストラップ

先進の貨物積載を実現する為の丈夫なバックルとナイロンの帶ひも。用途に合わせて様々な長さが用意されています。



# be a good butterfly



flap your **wings**

1963 年に物理学者のエドワード・ローレンツは偶然にも世界を見渡す深淵で斬新な法則に出会いました。天気を予測するより良い方法を模索している時、研究の過ちが彼の言うところの”初期値の敏捷性”なる原理を導いたのです。本質的に、彼は離れた組織の一部による一分間の行動が組織全体に劇的な影響を与えるということ理解したのです。”理論が正しければ、蝶の羽による一度の羽ばたきは離れた天候の推移を変えるのに十分である”とローレンツは記しています。その影響は劇的だけでなく、予測出来ない方法で滝になります。同じ考え方で、エクストラサイクルではスタッフ一人一人が世界に影響を与えると信じています。この楽観主義によって私たちは信念のために戦い続けることが出来、計り知れない、予期しない好意が広がって行くと確信しているのです。蝶が竜巻を起こせるならあなたにだってきっと出来ます。素敵なことに取り組んでみて下さい。